

内容的には最近の技術の進歩の跡を示すとともに、将来の研究方向を暗示するものとして、今後広く一般にも利用されるようにお願いする次第である。

われわれが製鋼部会長より鋳型分科会の研究のとりまとめを委嘱されて1年有余の後、本書の発刊をみるに到つたことはまことに喜ばしいことで、ここに発刊にさいして種々御世話をいただいた前日本鉄鋼協会会长塩沢正一氏をはじめ役員諸氏、ならびにこれまで御指導をいただいた鉄鋼技術共同研究会幹事長、山岡武氏・前製鋼部会長蜂谷茂雄氏・製鋼部会長武田喜三氏に厚く御礼申し上げる次第である。またこれまで鋳型分科会の運営にあたられた前任の各主査、故芥川武博士および入一二氏の御尽力に対し深く敬意を表する次第である。編集および執筆にあたられた委員諸氏には本務のかたわらに困難な仕事を完成された御努力を多として感謝の意を捧げる次第である。

昭和35年5月

鉄鋼技術共同研究会・製鋼部会

鋳型分科会 前主査 寺 田 二 郎

主 査 岩 村 英 郎

製鋼部会 鋳型分科会委員

昭和35年1月現在

部会長	八幡製鉄株式会社(本社)	武田 喜三	幹 事	日本铸造株式会社(本社)	中山 忠男
主 査	川崎製鉄株式会社(千葉)	岩村 英郎	通商産業省(重工業局)	中島 淳夫	
委 員	久保田鉄工株式会社(尼崎)	竹中 哲哉	〃 (〃)	西 村 一	
	株式会社神戸鋳鉄所(兵庫)	小野 義夫	日本鉄鋼協会	田 鍋 力	
	日本铸造株式会社(川崎)	中山 忠男	日本鉄鋼連盟(調査局)	飯島 健一	
	八幡製鉄株式会社(八幡)	百瀬 恒夫	旧委員および幹事		
〃 (〃)	相原 満寿美	部会長	日新製鋼株式会社(本社)	蜂谷 茂雄	
富士製鉄株式会社(本社)	久芳 正義	主 査	東京大学(工学部)(故)	芥川 武	
日本钢管株式会社(技研)	舟田 四郎	委 員	日本钢管株式会社(本社)	入 一 二	
川崎製鉄株式会社(葺合)	小川 己彦		黒崎築炉株式会社(本社)	寺田 二 郎	
〃 (千葉)	八木 靖浩		久保田鉄工株式会社(尼崎)	上村 勝二	
住友金属工業株式会社(本社)	池田 義孝		富士製鉄株式会社(室蘭)	森永 孝三	
〃 (東京)	知崎 喬		日本钢管株式会社(本社)	堀川 一 男	
株式会社神戸製鋼所(本社)	松浦 実		川崎製鉄株式会社(葺合)	尾上 慎一	
株式会社日本製鋼所(本社)	松本 茂樹		住友金属工業株式会社(吹田)	俵 隆治	
〃 (室蘭)	山下 広	幹 事	〃 (本社)	佐藤 輝顕	
日本特殊鋼株式会社(大森)	安藤 公平		株式会社神戸製鋼所(灘浜)	杉沢 英男	
大同製鋼株式会社(平井)	野崎 善蔵		大同製鋼株式会社(築地)	郡 勇	
幹 事	八幡製鉄株式会社(本社)	井上 孝	安達 甲 一	木 寺 淳	
	川崎製鉄株式会社(本社)	矢野 武夫	外務省(駐仏日本大使館)	水 谷 修	
			通商産業省(重工業局)	青 木 孝	
			〃 "	吉 田 道 一	
			日本鉄鋼連盟(調査局)		